

2024年9月13日

報道関係各位

ツムラ茨城工場 新棟建設工事の起工式を開催

～漢方薬の需要増加に伴う生産能力増強を目的に、2つの新棟を増設～

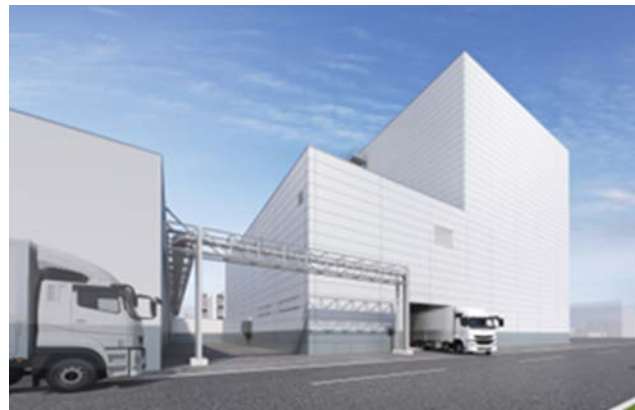
株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）は、国内の医療用漢方製剤の需要拡大に伴う、生産能力の増強および安定供給の確保に向け、漢方製剤の中間製品であるエキス粉末を生産する第4SD棟と、原料生薬の受入れと保管の機能を有する第3生薬棟を新設することといたしました。

このたび、新棟建設工事の起工式を9月6日(金)に執り行いましたので、お知らせいたします。

【完成予想図】



第4SD棟



第3生薬棟

1.新棟建設の目的

今回の新棟建設は、需要が拡大している医療用漢方製剤の生産数量を増加し、安定供給を実現することを目的としております。

第4SD棟は、自動化技術の導入による省人化と、設備能力を向上して切替洗浄時間の短縮を図るなど、さらなる労働生産性の向上を目指します。

自然と健康を科学する

お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ 担当：瀬戸、横田
〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 FAX.03-5574-6630

第3生薬棟は、ラック式の自動倉庫とすることにより、入荷後の搬送を無人化しエキス粉末生産量の増産に対応いたします。また、建屋は耐震構造を採用し、自動倉庫には免震ラックを使用することで、地震発生時の被害を最小限にとどめ、早期の生産再開が可能となります。

2.新棟の概要

■第4SD棟

(1) 名称	株式会社ツムラ茨城工場第4SD棟
(2) 所在地	茨城県稲敷郡阿見町吉原 3586
(3) 建設・施行会社	鹿島建設株式会社、東レエンジニアリング株式会社
(4) 機能	漢方製剤中間製品であるエキス粉末の生産 生産工程：切裁・秤量 ⇒ 調合 ⇒ 抽出分離 ⇒ 濃縮 ⇒ 乾燥
(5) 建設費用	約300億円
(6) 工期	自 2024年10月1日 至 2027年3月31日
(7) 建築面積/延床面積	1,560.90 m ² /8,462.98 m ² (地上7階建て)

■第3生薬棟

(1) 名称	株式会社ツムラ茨城工場第3生薬棟
(2) 所在地	茨城県稲敷郡阿見町吉原 3586
(3) 建設・施行会社	鹿島建設株式会社
(4) 機能	原料生薬の受入れ、生薬試験サンプリング、保管
(5) 建設費用	約80億円
(6) 工期	自 2025年3月1日 至 2027年3月31日
(7) 建築面積/延床面積	1,988.00 m ² /2,941.95 m ² (地上2階建て)

3. 起工式の様子

茨城工場で行われた起工式には、当社の加藤照和（代表取締役社長 CEO）の他、鹿島建設株式会社の越島啓介氏（代表取締役副社長執行役員）、東レエンジニアリング株式会社の岩出卓氏（代表取締役社長）など関係者36名にご参列いただきました。



起工式の様子



挨拶を述べる当社代表取締役社長 CEO 加藤

代表取締役社長 CEO 加藤照和の起工式挨拶

当社は 2022 年 4 月より、パーパス「一人ひとりの、生きるに、活きる。」を掲げた理念経営のもと、長期経営ビジョン「TSUMURA VISION "Cho-WA" 2031」をスタートさせました。長期経営ビジョンでは国内漢方事業の持続的な安定成長を支えるべく、生産能力の増強と生産性向上を目指しております。

このたび当社は、安定供給体制の確保のために、茨城工場に第 4SD 棟と第 3 生薬棟を建設し、エキス粉末製造工程の生産能力増強を行うことといたしました。この 2 棟は「グローバルレギュレーションへの対応」「生産数量の確保と労働生産性の向上」「人と環境にやさしい生産稼働」を共通のコンセプトとしております。

当社の企業使命である「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献します」を実現するために、皆様の知恵と創意工夫と最高の技術力を結集させ、安定した品質の漢方製剤を提供する「漢方」のツムラと言われるにふさわしい新製造棟が建設されることを期待しております。

以上

茨城工場について

1983 年竣工、操業開始。現在、当社には医療用漢方製剤を生産する工場が国内に 2 つあります。茨城工場は少品種大量生産に特化し、静岡工場（1964 年竣工）は医療用漢方製剤の他、一般用漢方製剤も含め多品種少量生産の役割を担っております。今回リリースしました茨城工場の敷地面積は 17 万 8000 m²となります。

